

じねん
自然の
こころ

12
2024.11



(星川杉山神社)

「自然」とは 全世界 全宇宙の万物はまさに「自ずから然るべく」存在し動き流れているという思想です。自然流の会はその「自ずから然るべくあるがままに」という概念を、日々の生き方、暮らし方の規範として捉え、その生活活動を支える会です。

目次

- 「星川杉山神社」のおはなし
- 2024 年度 第 16 回 年次総会と特別講演会の報告
- 第 22 回「親子工作教室」報告 (株)小林住宅工業 翠光会主催)
- (株)小林住宅工業 新モデルハウス「ひなた山の家」のご紹介
- 編集後記



2024 年度 第 16 回 自然流の会 年次総会 報告

理事長 柳澤 泰博

第16回年次総会が下記内容にて開催されました。

- 令和6年5月18日（土）
- 場所：かながわ県民サポートセンター 305号会議室
- 時間：14:00～15:00

□出席者

- 役員：柳澤理事長・松永副理事長・佐原理事・小林理事・山下理事・菅野監事
- 会員：野沢建設 野沢三郎さん・DEN 設計工房酒井行夫さん
- 出欠確認：決議書・委任状 21 名・出席 8 名・未連絡 5 名
→会員 34 名のうち、出席：8 名、決議書・委任状：21 通（総計：29 名）
過半数 17 を超え総会の決議は成立。

□進行 （司会・松永副理事長）

柳澤理事長あいさつ、資格審査（小林理事）、に続き柳澤理事長を議長に選出し審議が行われた。

① 議案審議

- 1 号議案：2023 年度事業報告（小林理事）

（質疑回答）

- 質問者：DEN 設計工房 酒井さん

「事業報告で、年間、役員会が 9 回、勉強会が 2 回。役員会は内部的なもの、勉強会は外部的なものであると思うが、会の目的を広めるために、アピールする必要があると思う。外への発信方法をどのように考えているか？」

- 回答者：事務局 小林理事

「(株)小林住宅工業 翠光会と共催をし、多くのひとに金田正夫先生の講演を聞いてもらった。」

- 補足回答：議長 柳澤理事長

「(株)小林住宅工業 OB、新建築家技術者集団へ広報を行った。勉強会は一般にはハードルが高い。地道に活動をしていかなければならない。Facebook の整理などを行いたいが、一般への広報はなかなか難しい。」

- 質問者：DEN 設計工房 酒井さん

「(上記の回答を聞いたうえで…) 現実的にどうするか？どちらかというと、思想的なことを、どのように伝えていくか？施工、設計者への具体的なアプローチが必要なのではないか？どのようにアプローチしていくのか？また、勉強会の開催だけでは、無理があるのではないか？」

- 回答：議長 柳澤理事長

「ご意見を踏まえて今後検討していく。」

- 2号議案：2023年度決算報告（佐原理事） 監査報告（菅野監事）

- 3号議案：2024年度事業計画（小林理事）

※1号議案でのDEN設計工房 酒井さんのご指摘を踏まえ、柳澤理事長より
「自然流の会 を一般にアピールしていくということを本年度は柱としていく。」

- 4号議案：2024年度予算案（佐原理事）

ー2号議案、4号議案を踏まえてー

- 質問者：DEN設計工房 酒井さんより

「基本は赤字と考えて良いか？また、繰越金はいつからの金額か？また、予算が53万円となっているが、足りなかった場合、繰越金で補填をするのか？先程と同じ質問になるが、どうやったらほかの工務店に会員になってもらえるか？小林住宅だけでは無理なのではないか？どこかへ声かけは行っているか？」

- 回答者：議長・柳澤理事長

「単年度として収支はバランスしているが2023年度はあまり活動しなかった。ちなみに繰越金は、自然流の会の前進であるSHSの会からの繰り越しになる。昔は、小林住宅の建て方はハードルが高かったが、昨今自然素材の家づくりが一般的に受け入れられるようになり、時代が変わっていきしており、会としては、良い時期にきている。そうしたなか「自然流健康の家」の仕様をどのようにアピールするかが課題にもなる。また、HPを整備したいと思うが、資金をどのように調達するかが課題。」

質疑回答を踏まえ、1号議案～4号議案すべて可決されました。



総会記念講演報告

総会終了後、星川杉山神社 権禰宜^{ごんねぎ} 上野力氏をお迎えし「日本人の生活と神道」と題して記念講演が行われました。参加者：会場 19 名 Web 数名（WEB 参加者は適宜入退室）。

星川杉山神社は、その名の通り星川の丘の上にある神社で、小林住宅工業では毎年正月の初参りの参詣や地鎮祭などをお願いしている神社です。
今回はその杉山神社の権禰宜 上野力さんにご講演をお願いいたしました。

初参りや七五三など身近な神社ですが、「神道^{しんどう}」となるとその内容は意外と知らないことが多いようです。

上野さんから、「日ごろ日本人は身近な存在としていろいろなものに神様が宿ると考えられてきました。それは日本独自の万物に神が宿るとの考えで、西欧の一神教の絶対神とは大きく異なっています。それは日本人の精神風土のなせることなのでしょう。

そうしたことを踏まえて「神道」は宗教なのか？という話もありますが、神道はいわゆる宗教と違い明確な戒律教えなどはありませんという、大変に興味深いお話にもなりました。そうした意味で、これからも日々身近な存在として神社・神様が人々の心の支えとなるのだと思いました。



（星川杉山神社 権禰宜 上野力氏）

受講アンケート（会員：㈱エコログ太田さん FB より）

毎回、総会後に記念講演が設けられているが、今回は耳慣れた家づくりに関する話題ではなく、日本人の原点に遡るお話だったので、一段と興味を持って聴くことが出来たのは私ばかりではなかったようだ。話の詳細内容は参加者の特権として割愛するが、今に至る神道にまつわる歴史が判り、退屈せずに聴くことが出来ました。お話しの後はいつもの酒場で二十年来の知己の皆様と大いに語らい、飲みました。

自然流の会勉強会「日本人の生活と神道」に参加して

（役員：佐原榮子）

日常、私たちは神様を強く意識することは殆どありません。

しかし、お正月や慶事には神社に詣でいろいろお願い事をし、身の上に何かあった時、ふと「神様」を思ったり、日本人の心の奥深くには「神様」への畏敬の念があるように思います。

今回、漠然とした神様ではなく、学問的に「神道」についてお話を伺え、神に対する理解が増したと思います。
更に、深掘したお話をお聞きしたいと思いました。



第22回 親子工作教室 開催されました

自然流の会会員が参加して、2024年8月18日（日）
横浜市立瀬谷さくら小学校にて、翠光会主催の
「第22回親子工作教室」が開催されました。



本年度は、(株)土屋材木店さんと(株)イマガワさんの「工作キット」、ティッシュボックス、本棚、モバイルチェアー、りんご箱、の4点を販売しました。
工作がはじめてのお子さんでも安心して取り組みました！
例年好評の「丸太切り競争」も開催。大人の賞品「お米5kg」、
キッズの商品は「おもちゃ券」★ 白熱の戦いでした！



取材：自然流の会 事務局



小林住宅工業の本社があるひなた山住宅地は、横浜市泉区・瀬谷区の境に位置し、開発面積：353,000 m²；総戸数：1,200 戸；供給年：1972 年-1976 年。事業者は相模鉄道株式会社で土地区画整理事業による開発でした。「いずみ野住宅地」と同時に開発されたひなた山住宅地は、いずみ野駅の北方約 2.5km に位置し、南端が東海道新幹線に接する地区です。住宅地中央部で都市計画道路環状 4 号線と鴨居上飯田線が交差しており、都市計画道路沿いには集合住宅と商業施設が配置されました。その他の部分については、周辺が市街化調整区域であることから、緑を活かし、環境に配慮した戸建て住宅が配置されました。そのような立地の中で泉区上飯田町の緑地に面した西南の角地に建設した小林住宅工業(こぼじゅう)の新しいモデルハウスは、この地域にちなんで「ひなた山の家」と名付けられました。今後、地元の皆さまに愛されるモデルハウスとして運用してまいります。見学も随時受け付けており、宿泊体験も予定しています。ぜひご見学ください。

お問合せは 0120-70-1093

(文責:会員 小林栄利子)

編集後記

「自然流の会」の会報誌「自然のこころ」も早 12 号となりました。
シックハウスにさせない家づくりから始まった「自然流の会」の取り組みですが、
此の処「シックハウス」が大きく取り上げられる事はなくなりました。
しかし、苦しむ人々がまだまだおられると聞きます。
これからも、安心で安全な暮らしの提供に向け活動が続けたいと思います。

(佐原 榮子)

